

# しあわせ実感都市 瀬戸内を目指して



せとうち  
瀬戸内市長(岡山県) **武久 顕也** たけひさあきなり



美しい多島美がひろがる  
牛窓オリーブ園からの眺め



日本最大級のメガソーラーの発電所

## はじめに

瀬戸内市は岡山県の東南部に位置し、西端を南北に一級河川吉井川が流れ、中央部には千町川との間に千町平野が広がり、東南部は瀬戸内海に面し牛窓地区からは多島美を眺望できます。総面積は125.46<sup>2</sup>km、人口は約3万7000人で、平成16年に旧<sup>おく</sup>邑久郡3町が合併し誕生しました。

本市に生まれ、農家の長男として育った私は、大学卒業後、家業の農業を営んでいましたが、農業を子どもたちに誇れる産業にしたいとの思いから、行政施策の大切さを痛感し、27歳の時に合併前の旧邑久町議会議員選挙に立候補し当選しました。そし

て31歳の時、旧邑久町長選挙に立候補し、僅差で敗れました。

自らの力量不足を痛感した私は渡英し、大学院で公共経営管理学を学び、その後、英国のバーミンガム市役所で業績評価を担当する部署でインターンを経験しました。英国ではお金もなく生活は厳しかったです。が、その後の人生の大きな礎となりました。

平成15年に帰国した私は、監査法人で働き自治体のコンサルティングや監査を担当しました。また、同時に大学院にも通い、仕事の合間を縫って公共経営の研究を行う傍ら、専門職大学院で自治体職員向けの<sup>きょうえん</sup>教鞭も執っていた40歳の頃、前瀬戸内市長の辞職によって、急きよ瀬戸内市長選挙に出馬することになりました。間もなく3期目の任期を終えようとしています。

就任当初から「しあわせ実感都市瀬戸内」を掲げ、市民の皆さまに幸せを実感していただけるようなまちづくりを目指してきました。おかげさまで、本市ではいくつもの懸案事項に道筋が立ちました。前所有者の破産により、浸水被害が及ぶ可能性のあった500haの塩田跡地を市が引き取り、その土地に日本最大級となる235MWのメガソーラーの発電所を誘致できました。そこで生み出される税や土地の賃借料は貴重な財源となっています。

また、市民との協働によって図書館を建設し、平成29年にはライブラリー・オブ・



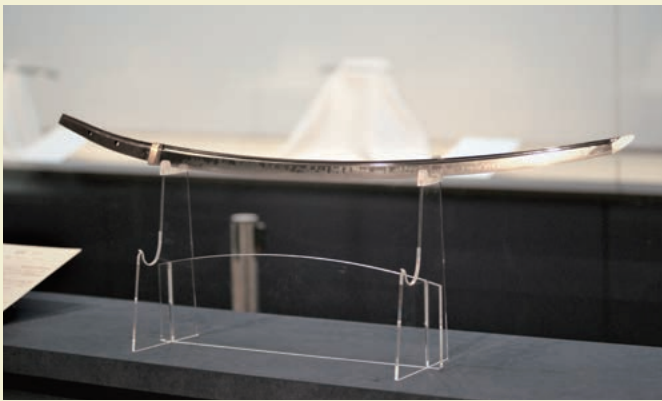
ライブラリー・オブ・ザ・イヤー 2017 の大賞を受賞した瀬戸内市民図書館

ザ・イヤーの大賞を受賞しました。この他、市民病院の建設、企業団地の造成、民間子ども園の誘致、駅前整備など、少しずつではありますが、市民の皆さまが幸せを実感できるまちに近づいてきていると感じています。

## 日本刀の聖地「備前長船」

瀬戸内市長船町<sup>おさふねちやう</sup>を中心とした「備前長船」は、歴史的にみて日本刀生産量で圧倒的な日本一を誇り、国宝や重要文化財に指定されている日本刀の約半数を産出する「日本刀の聖地」として知られています。

しかし、現在は「備前長船」の刀工は市内でわずか数人となり、この地域にある備前



国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」



上杉謙信公に扮してチラシを配る筆者

長船刀剣博物館には国宝・重要文化財が一口も所蔵されておらず、その伝統文化や技術の継承が危ぶまれています。

そのような状況を何とかしたいと思っていた私は、売却話の拳がっていた、上杉謙信公の愛刀で備前刀の最高峰と言われる国宝「太刀無銘一文字（号・山鳥毛）」（通称さんちょうもう）を購入して、その生まれ故郷である本市の「備前長船」の地に里帰りさせようと、同じ思いを共有している市民の方々と「山鳥毛里帰りプロジェクト」を立ち上げました。そして刀の購入費用である5億円を含む全ての費用を、ふるさと納税制度を活用した寄附金で賄おうと計画しました。刀一口に5億円という金額の大きさ

や、全額寄附で賄うという目標の実現可能性などから、議会や市民の皆さまの賛同を得ることは容易ではありませんでした。それでも、できることは何でもやろうと、上杉謙信公に扮して甲冑を着け、チラシ配りをしたり寄附金を募ったりしました。その結果、多くのご支援をいただき、令和2年1月に無事に目標額を達成することができました。ご協力くださいました全ての皆さまに感謝申し上げます。おかげさまで、今回のプロジェクトを通じて、趣味として楽しめるだけの刀についての基本的な知識は身に付いたように思います。

### 大正ロマンの薫る竹久夢二の生誕地

本市は、大正ロマンを代表する画家であり、詩人としても知られる竹久夢二の生誕地でもあります。平成29年から本市では竹久夢二の業績をたたえ、「夢二

のふるさと芸術交流プロジェクト」として、さまざまな文化芸術活動を始めました。また、竹久夢二の詩をテーマに「夢二コンクール」という日本歌曲のコンクールを開催しています。毎回全国から優れた声楽家がコンクールに応募してくださり、年々質の高いコンクールになって来ています。

声楽は私自身の趣味でもあ



オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」の1シーンに出演する筆者

り、県内の研究会に所属してコンサートやオペラ、ミュージカルの出演などを通じて学んでいます。昨年はあいにくコロナ禍により、歌う機会はめっきり減りましたが、市民の皆さまにも文化祭や敬老会などの機会にご披露して喜んでいただけるよう練習に励みたいと思います。

### おわりに

市長という仕事は決断を迫られ困難も伴いますが、歌を歌うことで大きな気分転換になっています。また、趣味を通じて新たな価値観を理解できるようになったり、ネットワークが広がり政策の実現にもつながったりします。仕事の時間もプライベートの時間もそれぞれが好循環となるように生活していくことができれば、これからも充実した時間を過ごせるように思います。